

製表関連国際用語集 No.1

国連統計部及び欧州経済委員会
ヨーロッパ統計家会議方法論資料

統計データ・エディティング に関する用語集（対訳）



国連
ジュネーブ，2000

（翻訳：独立行政法人 統計センター 研究センター，平成 17 年 1 月）

本資料に関する留意点

この『用語集』は、国連が1997年に刊行した”Statistical Data Editing, Volume No. 2, Methods and Techniques (Conferences of European Statisticians, Statistical Standards and Studies – No. 48)”の巻末に収録されていた用語集を増補改訂し、2000年に刊行した”Glossary of Terms on Statistical Data Editing”の翻訳である。エグゼクティブ・サマリーにも指摘されているように、データ・エディティングに関する処理は、一国内で様々な名称で呼ばれることが多い。また、国際的にみると、データ・エディティングの方法論として、Fellegi-Holt法、さらには同方法論を基礎とし、実用性を高めた新補定法NIMがよく知られており、この『用語集』に収録されている用語には、これらの方法論に関連するものが多いが、我が国では、殆ど知られていない。”Inlier”のように比較的最近登場した造語なども、我が国では馴染みがなく、当然、定訳がない。このため、原文も併せて収録したほうが誤解や混乱の生じる余地が少なくなると考え、対訳形式を採ることとした。しかし、『用語集』の記述は長さが制約されるため、Fellegi-Holt法やNIMに関連する用語については、次の文献なども参照したほうがよいであろう。

Fellegi-Holt法関連

Fellegi, I.P. and Holt, D. (1976). A systematic approach to automatic edit and imputation. *Journal of the American Statistical Association*, 71, 17-35.

新補定法NIM関連

Bankier, M. (1999). Experience with the new imputation methodology used in the 1996 Canadian census with extensions for future censuses. *Working Paper No.24, UN/ECE Work Session on Statistical Data Editing, Rome, 1999.*

なお、上記以外で若干補足が必要と思われる点を以下に記す。

- 新補定法NIMは、当初はNew Imputation Methodの略とされていたが、最近ではNearest-neighbor Imputation Method（最近隣補定法）の略とされている。
- 原資料では、”Data Imputation”が重複して載っているが、本資料では、一方を削除した。
- 本資料には、”Selective Edit”と”Selective Editing”が収録されているが、定義は異なる。前者は、”Macro-Edit”（集計値やデータの分布からエラーを特定すること）と同義とされ、後者は、”Micro-Editing”（個々のデータをチェックしてエラーを特定すること）においてチェックするデータを一定の範囲（通常、集計値への影響が大きいデータ）に限定することを指す。
- 原文の”Edit”は、しばしばEdit rules（エディット規則）と同一視して用いられており、訳文の「エディット」を「エディット規則」などと読み替えると分かり易い場合が多い。一部については、訳文を「エディット（規則）」とした。

序 文

この方法論資料『統計データ・エディティングに関する用語集』(Glossary of Terms on Statistical Data Editing) は、ヨーロッパ統計家会議 (Conference of European Statisticians) の作業プログラムの枠組みの下、国連欧州経済委員会統計部 (UN/ECE Statistical Division) によって組織された統計データ・エディティングに関する活動に参加する諸国の要請に基づき作成された。『用語集』は、「統計データ・エディティングに関する UN/ECE ワークセッション」(UN/ECE Work Sessions on Statistical Data Editing) の参加者による広範な自発的努力の一つの成果である。

1999年6月、統計データ・エディティングに関するワークセッションにおいて原資料に対する再検討が行われた。ワークセッションには、UN/ECE加盟各国の統計局及び国連食料農業機関 (FAO) が参加した。その際の討議の結論は本資料に反映されている。

ヨーロッパ統計家会議は、2000年の全体会合において、同資料を方法論資料として複製し、関係統計各局に配布することを承認した。

エグゼクティブ・サマリー

用語集なるものは、その性質上、けっして完成をみることはない。このことは、データ・エディティングや補定 (imputation) などの比較的新しい分野の場合とくにそうである。それにもかかわらず、「統計データ・エディティングに関するワークショップ」は、その任務として本『用語集』の編纂を引き受けた。編纂作業は、ヨーロッパ統計家会議の作業プログラム——国連開発計画 (UNDP) 統計コンピュータ処理プロジェクト (Statistical Computing Project) の「データ・エディティングに関する合同部会」(Joint Group on Data Editing) を前身とする——の一部として、同プログラムに基づき実施された。本資料は、過去十年以上にわたる同作業の成果である。同ワークショップの多くの者がその編纂に寄与した。とりわけダニア・ファーガソン (米国立農業統計サービス (U.S. National Agricultural Statistics Service)) とウィリアム・ウィンクラー (米国センサス局 (U.S. Bureau of the Census)) は、作業の最初から最後まで多大な労苦を惜しまなかった。ここに感謝の意を表したい。

このような根気の要る作業を開始した理由はいろいろある。そのうちの幾つかはもはや過去のものだが、ほとんどは現在にも共通している。なかでも大きな懸念は、多くの異なるデータ・エディティング・補定作業が同じ名称で参照されることがある一方で、異なる国の間ではもちろんのこと、同じ組織内でも違う名称で呼ばれる作業も数多く存在するという点である。データ・エディティング用語の標準化は明らかに必要とされている。有意義かつ効率的にデータ・エディティング作業に関する議論を行うには、専門用語に対する共通の理解は不可欠である。この用語集が各国の統計局におけるデータ・エディティング業務の役に立てば幸いである。

本『用語集』は、統計データのエディティング・補定に関する用語を採録したものである。『用語集』には概念の定義のほか、諸原則 (principles)、手法 (techniques) 及び方法 (methods) が含まれている。現行版では 180 以上の用語が扱われている。初学者のみならず専門家の方々にもご利用いただくことで、ご教示やご批判を賜りたい。本『用語集』が専門用語に関する共通の理解を促進し、専門的知識と経験が共有される枠組みとなることを期待するものである。

なお、本『用語集』には、実務的な例や特定の問題に対する解答は含まれていない。とくに、定義された手法を実践するコンピュータ・システムに関する用語は明らかにリストから省かれている。したがって、関連する用語を結びつけ、足りない用語を補足し、古くなった定義を修正する作業は別途必要である。すでに述べたように、これは完全な用語集ではない。しかしながら、これを白日の下に晒し、世間から発展のためのご批判を頂戴することで、有益なものとなっていくであろう。利用者の方々には、この「生ける文書」が可能な限り最新のものとして発展していくよう、更なる用語、解説及び具体例をご教示いただきたい。ご意見やご提案は、info.stat@unece.orgまでお送りいただければ幸いである。

統計データ・エディティングに関する用語集

原文	邦訳
<p>ACCEPTANCE REGION The set of acceptable values defined by the edits for each record. For categorical data the acceptance region can be represented as a set of lattice points in N-Space. For numerical data it is a set of convex regions in N-Space (N-dimensions of real numbers). Also called a feasible region.</p>	<p>容認範囲 エディット（規則）によって定義される、各レコードのとり値の許容範囲の集合。カテゴリーカル・データの場合は、N 空間内の格子点の集合として示される。また数値データの場合は、N 空間（実数の N 次元空間）内の凸域の集合となる。「実行可能域」（feasible region）ともいう。</p>
<p>ACCEPTANCE RULE Logical or arithmetic condition applied to a data item or data group that must be met if the data are to be considered correct.</p>	<p>容認型規則 データ項目またはデータ群に適用される論理的または算術的条件。データが正しいとみなされるためには、この条件に合致していなければならない。</p>
<p>ACTIVE FIELD A data item (field) for which some values of this data item create a conflict in combination with values of other data items.</p>	<p>アクティブな項目 当該データ項目がある値をとると、他のデータ項目の値と矛盾（エディットをパスできない状態）を生ずるデータ項目。</p>
<p>ANALYSIS OF CORRECTION RULE SPECIFICATIONS Verifying consistency of correction rule specifications, mainly in an extensive set of check and correction rules.</p>	<p>訂正規則の仕様の分析 主に広範なチェック規則および訂正規則の集合において、訂正規則の仕様の整合性を検証すること。</p>
<p>ANALYSIS OF EDIT RULE SPECIFICATIONS An activity by which the consistency of a set of check rules is ascertained, implied (derived) check rules are created, and an economical form (reduction) of specifications of the originally large number of edit (check) rules is determined.</p>	<p>エディット規則の仕様の分析 チェック規則の整合性を確かめ、(派生する)インプリシット・チェック規則を生成し、さらに本来的に多数のエディット（チェック）規則の仕様の節約的な形式（縮減）を決定する作業。</p>
<p>ANALYTICAL EDITING Edit rule proceeding from a logical reasoning.</p>	<p>分析的エディティング 論理的な根拠に基づいたエディット規則</p>
<p>AUDIT TRAIL A method of keeping track of changes to values in a field and the reason and source for each change. Audit trails are generally begun after the initial interview is completed.</p>	<p>監査証跡 項目の値の変更と各変更の理由および出所を追跡する方法。監査証跡は一般に最初の調査（interview）が完了後から開始される。</p>

<p>AUTOCORRECTION Data correction performed by the computer without human intervention. It makes particular use of redundancy. Exclusion (elimination) of incorrect records or substitution of a record or its part by data from other records or the correction base. Autocorrection is generally done according to rules that assure the final (corrected) record fails no edits.</p>	<p>自動訂正 人手を介さずにコンピュータによって実行されるデータ訂正。とくに冗長性 (redundancy) を利用する。誤ったレコードを排除 (削除) したり、他のレコードまたは訂正用資料 (correction base) のデータによってレコード全体またはその一部を置き換えること。一般に、最終的な (訂正済み) レコードがエディットを完全にパスすることが保証されている規則に則って自動訂正が実行される。</p>
<p>AUTOMATED DATA ADJUSTMENTS occur as a result of computer actions. A desirable option in any system allowing computer actions is to allow for the overriding of those actions at some level. Batch data adjustment results in a file of corrected (edited/imputed) records with accompanying messages to report on the computer actions taken to make the adjustments.</p>	<p>自動データ調整は、コンピュータ動作の結果として発生する。コンピュータ動作を行うシステムにおいて望ましいオプションは、レベルに応じてコンピュータ動作を無効にする機能である。バッチ処理によるデータ調整では訂正済み (エディット/補定済み) レコードのファイルが作成されるとともに、調整のために実行されたコンピュータ動作に関する報告メッセージが記録される。</p>
<p>AUTOMATED DATA REVIEW may occur in a <i>batch</i> or <i>interactive</i> fashion. It is important to note that data entered in a heads-down fashion may later be corrected in either a batch or an interactive data review process.</p>	<p>自動データ審査は、バッチ形式または対話形式いずれかの形式で実行される。ヘッドダウン方式で入力されたデータは、後にバッチ形式か対話形式いずれかのデータ審査プロセスで訂正される可能性があることに留意しておく必要がある。</p>
<p>AUTOMATED IMPUTATIONS generally fall into one of six categories: a. Deterministic imputation- where only one correct value exists, as in the missing sum at the bottom of a column of numbers. A value is thus determined from other values on the same questionnaire. b. Model based imputation - use of averages, medians, regression equations, etc. to impute a value. c. Deck imputation - A donor questionnaire is used to supply the missing value. Hot-deck imputation - a donor questionnaire is found from the same survey as the questionnaire with the missing item. The "nearest neighbour" search technique is often used to expedite the search for a donor record. In this search technique, the deck of donor questionnaires comes from the same survey and shows similarities to the receiving record, where similarity is based on other data on the questionnaire that correlates to the data being donated. For example: similar size and location of farm</p>	<p>自動補定は一般に、以下の6つのカテゴリーのいずれかに該当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 確定的補定法— たとえば縦の欄の数字の一番下の合計値が欠測しているが、正しい値が一つしか存在していない状況。この場合、値は同じ調査票の別の値から決定されることになる。 b. モデルベース補定法— 平均値、中央値、回帰式などを用いて、値を代入すること。 c. デッキ補定法— 欠測値を補うために、ドナーの調査票を利用すること。 <p>ホットデッキ補定法— 欠測項目がある調査票と同じ調査の中からドナー調査票を見つける方法。ドナーレコードを迅速に探すため、しばしば「最近隣」検索法を利用する。この手法では、ドナー調査票のデッキは、同じ調査から得られたレコードの中で受け取り側のレコードと類似したもの——補定するデータと相関性を有する、調査票上の他のデータに基づく類似性——が選択される。た</p>

might be used for donation of fuel prices.

Cold-deck imputation - same as hot deck except that the data is found in a previously conducted similar survey.

d. **Mixed imputation** - In most systems there usually is a mixture of categories used in some fixed rank fashion for all items. For example, first a deterministic approach is used. If it is not successful, then a hot deck approach is tried. This is followed by a model-based approach. If all these approaches fail, then a manual imputation occurs through a human review process.

e. **Expert Systems** - An expert system is an intelligent computer program that uses knowledge and inference procedures to solve problems that are difficult enough to require significant human expertise for their solution. Every expert system consists of two principal parts: the **knowledge base** and the **inference engine**. The knowledge base contains both factual and heuristic knowledge. Factual knowledge consists of items commonly agreed upon by spokesmen in a particular field. **Heuristic knowledge** is the less rigorous, more experiential and more judgmental knowledge of performance or what commonly constitutes the rules of "good judgement" or the art of "good guessing" in a field. A wisely used representation for the knowledge base is the rule or if /then statement. The "if part" lists a set of conditions in some logical combination. Once the "if part" of the rule is satisfied, the "then part" can be concluded or problem solving action taken. Expert systems with knowledge represented in rule form are called **rule -based systems** . The inference engine makes inferences by determining which rules are satisfied by facts, ordering the satisfied rules, and executing the rule with the highest priority. Expert data editing systems make so-called **intelligent imputations** based on a specified hierarchy of methods to be used in imputing an item. One item may use a deterministic approach followed by a hot-deck approach, while another item might require a model-based approach. Each item on the questionnaire would be resolved according to its own hierarchy of approaches, the next being automatically tried when the previous method has failed.

f. **Neural networks** - information

たとえば、ある農場の燃料費が欠測していた場合、そのデータを補定するために類似の規模および立地条件の農場をドナーとして利用できるかもしれない。

コールドデッキ補定法 - ホットデッキ法とほぼ同じだが、コールドデッキ法の場合は、補定値を以前に実施した類似の調査から見つける点で異なっている。

d. **混合補定法** - ほとんどのシステムでは通常、異なる補定法を一定の順序で利用している。たとえば、まず最初に確定的補定法が利用され、それが駄目ならホットデッキ法、それも駄目ならばモデルベース法が試みられる。そしてすべての方法がうまく行かないときは、人で審査プロセスで手作業で補定が行われる。

e. **エキスパート・システム** - 解決のために多数の専門家が必要となる困難な問題を、知識（ナレッジ）と推論処理を用いて解決するインテリジェント・コンピュータ・プログラムの一つ。いずれのエキスパート・システムも主に2つの部分、すなわち**知識ベース（knowledge base）**と**推論エンジン（inference engine）**によって構成される。知識ベースにはさらに、確実な知識とヒューリスティックな知識の2つがある。確実な知識は、その分野の専門家の間一般的な合意のある項目から構成される。一方、**ヒューリスティックな知識**は、それほど厳格ではない、より経験的ないし主體的判断に基づく実行上の知見や、その分野で用いられる「適正な判断」のためのルールないし「適正な推測」のための技術と一般に考えられているものをいう。広く用いられている知識ベースの表現形式としては、ルール形式ないしif/then形式がある。すなわち、「if ~」の部分には論理的な組み合わせの条件が一式列挙され、ルールのこの部分が充足されたら「then ~」が結論されるか、あるいは問題を解決するためのアクションが採られる。このようにルール形式で表現された知識を有するエキスパート・システムを、「**ルールベース・システム（rule-based system）**」という。推論エンジンは、どのルールが事実により充足されるかを決定し、充足されたルールを命令し、さらにそのルールを最優先的に実行することによって推論を行う。

エキスパート・データ・エディティング・システムは、補定処理を行う際、既

<p>processing paradigm based on the way the mammalian brain processes information. The neural network is composed of a large number of interconnected parallel processing elements tied together with weighted connections. These connection weights store the knowledge necessary to solve specific problems. The network is prepared for solving a problem by "training", i.e. the connection weights are iteratively adjusted based on examples or a verified set of input/output data. In data editing neural networks allow to create an edit system directly from the data and to develop the edits over time through periodic retraining.</p>	<p>定の階層的方法によりいわゆる知的補定法 (intelligent imputation) を実行する。たとえば、ある項目に対しては先ず確定的補定アプローチを用い、次にホットデック・アプローチを試みる一方、別の項目についてはモデルベース・アプローチを採用したりする。回答の欠測している調査票項目は、各々独自に設定された階層的なアプローチに従い、最初の方法が駄目だったら自動的に次の方法が試行されるという具合に解決される。</p> <p>ニューラル・ネットワーク法— 哺乳類の脳が情報を処理する仕方に基づいた情報処理の概念モデル。重み付けされた連結によって相互に繋がれた多くの並列処理要素から成る。連結に重みを付けることによって、特定の問題を解決するために必要な知識が蓄積される。ネットワークは「訓練」によって、すなわち実例や検証済みのインプット/アウトプット・データに基づき繰り返し連結基準の重み付けを調整することによって、問題解決が可能なものとなる。データ・エディティングの分野では、ニューラル・ネットワークによって関係データから直接エディット・システムを生成し、定期的な再訓練を通じて時間とともにエディットを発展させていくことができる。</p>
<p>BALANCE EDIT An edit which checks that a total equals the sum of its parts. Also called an <i>accounting edit</i>. Example: Closing inventory = Opening Inventory + Purchases - Sales.</p>	<p>バランス・エディット 合計値がその部分の総計と等しいことをチェックするエディット。会計エディットともいう。 例: 期末棚卸高 = 期首棚卸高 + 仕入高 - 売上高</p>
<p>BATCH DATA REVIEW A review of many questionnaires in one batch occurs after data entry. It generally results in a file of error messages. This file may be printed for use in preparing corrections. The data records may be split into two files. One file containing the "good" records and one containing data records with errors. The other file can be corrected using an interactive process.</p>	<p>バッチ形式データ審査 データ入力後、多くの調査票の審査を一括して行われる。その結果、通常、エラーメッセージ・ファイルが作成される。このファイルは、訂正用に印刷することができる。データ・レコードは、「適正」レコードのファイルとエラーのあるデータ・レコードのファイルに分けることができる。後者のファイルは対話形式プロセスによって訂正することができる。</p>
<p>CAI-COMPUTER-ASSISTED INTERVIEWING uses the computer during interviewing. Any contradictory data can be flagged by edit routines and the resultant data can be immediately adjusted by information from the respondent. An added benefit is that data capture (key-entry) is occurring at interview</p>	<p>CAI/コンピュータ支援面接調査 コンピュータを利用しながら行われる面接調査。矛盾があればエディット・ルーチンによってフラグ付けが行われ、回答者からの情報によって即座に調整することができる。面接時にデータ入力(キー入力)を同時に行えるという利点がある。CAIは、面接時の質問のワーディングや、前の質問の回答に基づい</p>

<p>time. CAI assists the interview in the wording of questions and tailors succeeding questions based on previous responses. CAI has been mainly used in Computer-Assisted Telephone Interviews (CATI) or Computer-Assisted Personal Interviewing (CAPI).</p>	<p>て後続の質問を仕立てるなど支援を行う。CAIは、主にコンピュータ支援電話調査やコンピュータ支援面接調査として利用されてきた。</p>
<p>CASIC The acronym “CASIC” stands for computer assisted survey information collection. This encompasses computer assisted data collection and data capture. CASIC may be more broadly defined to include the use of computer assisted, automated, or advanced computing methods for data editing and imputation, data analysis and tabulation, data dissemination, or other steps in the survey or census process.</p>	<p>CASIC／コンピュータ支援調査情報収集 CASIC は、Computer Assisted Survey Information Collection の頭文字略称。コンピュータ支援のデータ収集およびデータ取得を指すが、より広義には、データ・エディティング・補定、データ分析・集計、データ配布、その他の調査・センサス・プロセスにおけるコンピュータ支援方式、自動方式、あるいは先進的コンピュータ処理まで含めることがある。</p>
<p>CHECKING RULE A logical condition or a restriction to the value of a data item or a data group which must be met if the data is to be considered correct. In various connections other terms are used, e.g. edit rule.</p>	<p>チェックング規則 データ項目またはデータ群の値に対する論理的条件または制約。これが充足されてはじめて、そのデータは正しいものとみなされる。場面に応じて、エディット規則など様々な用語が使われる。</p>
<p>CLASS ATTRIBUTE CHECK Verifying whether the value of the common attributes (class attributes) of a logical unit or its components are identical.</p>	<p>クラス・アトリビュート・チェック ある論理的単位またはその構成要素の共通の属性（クラス・アトリビュート）の値が一致しているか否かを検証すること。</p>
<p>CODE LIST LIST OF CODE WORDS List of all allowed (admissible) values of a data item.</p>	<p>符号リスト データ項目がとりえる（許容可能な）全ての値のリスト。</p>
<p>CODE REDUNDANCY When a character or group of characters in a code word can be partially or completely deduced from the remaining characters of the code word.</p>	<p>符号冗長性 ある符号の中の文字または文字群が、その符号中の残りの文字（群）から部分的または完全に推定できる場合。</p>
<p>CODE SPACE A set of all combinations of admissible values of a particular record of data. Cartesian product of the code word lists of individual data in a record.</p>	<p>符号空間 個々のデータ・レコードの許与可能な値の全ての組み合わせの集合。レコード内における個々のデータの符号リストのデカルト積。</p>
<p>CODE STRUCTURE VALIDATION CODE STRUCTURE CHECK Verifying whether the characters of the correct type (e.g., digits, letters) are at the</p>	<p>符号構造チェック 正しい種類の文字（数字、アルファベットなど）が符号の正しい位置にあるか否かを検証すること。</p>

correct positions of the code word.	
<p>COLD-DECK A correction base for which the elements are given before correction starts and do not change during correction. An example would be using prior year's data. A modified cold-deck may adjust colddeck values according to (possibly aggregate) current information (see also HOT-DECK).</p>	<p>コールドデッキ 訂正用資料の一種。コールドデッキの場合、訂正の前にデッキの構成要素が与えられ、その要素は訂正の間変更されることはない。たとえば、前年のデータを利用する場合などが挙げられる。修正コールドデッキ法では、カレントな情報（集計値の場合もある）に従ってコールドデッキの値を調整する可能性がある（HOT-DECK（ホットデッキ）の項も参照のこと）。</p>
<p>COMPLETE SET OF CONFLICT RULES A set of explicitly given conflict rules and of all implied conflict rules.</p>	<p>矛盾型規則の完備集合 明示的に与えた規則および（これら明示的規則から派生する）全てのインプリシット規則の集合。</p>
<p>COMPLETE SET OF EDITS The union of explicit edits and implied edits. Sufficient for the generation of feasible (acceptance) regions for imputation (that is if the imputations are to satisfy the edits).</p>	<p>エディットの完備集合 明示的エディットとインプリシット・エディットを合わせた集合。補定に用いる値の容認範囲（すなわち、補定結果がエディットをパスできる値の範囲）を生成するのに十分な規則の集合。</p>
<p>COMPLETENESS CHECKING ... at survey level ensures that all survey data have been collected. A minimal completeness check compares the sample count to the questionnaire count to insure that all samples are accounted for, even if no data were collected. ... at questionnaire level insures that routing instructions have been followed. Questionnaires should be coded to specify whether the respondent was inaccessible or has refused, this information can be used in verification procedures.</p>	<p>完備性チェック …調査段階においては、すべての調査データが収集されたかどうかの確認。最低限の完備性チェックでは、データの有無にかかわらず、すべての標本について調査票が回収されたか確認するため、調査票の数と標本の数が対比される。 …調査票段階においては、ルーティングの指示に従っているか否かの確認。調査票は回答者が接触不能だったのか、それとも回答拒否したのかを符号化しなければならない。この情報は検証過程で使用することができる。</p>
<p>COMPOSITION CHECK Verifying whether the structure of a logical unit (e.g. - household) is consistent with the definition (e.g., at least one adult).</p>	<p>構成チェック 論理的ユニット（例一世帯）の構成が定義（例一少なくとも大人1人）と整合しているか否かを検証すること。</p>
<p>CONDITIONAL EDIT An edit where the value of one field determines the editing relationship between other fields and possibly itself. For example, suppose there are three fields A, B, and C. A conditional edit would exist if the relationship between fields B and C as expressed through the edits depended on the value in A.</p>	<p>条件付きエディット ある項目の値が他の項目間の関係エディットを決定するようなエディット。たとえば、A、B、Cの3つの項目があり、項目Bと項目Cの関係エディットがAの値に依存したエディットで表現される場合。</p>

<p>CONFLICT RULE REJECTION RULE A logical condition or a restriction to the value of a data item or a data group which must not be met if the data is to be considered correct.</p>	<p>矛盾型規則 棄却型規則 データ項目またはデータ群の値に対する論理的条件または制約の一つ。そのデータが正しいとみなされるには、これが充足されてはならない。</p>
<p>CONSISTENCY CHECK Detecting whether the value of two or more data items are not in contradiction.</p>	<p>整合性チェック 2つ以上のデータ項目の値が矛盾していないかどうかを検査すること。</p>
<p>CONSISTENCY EDIT A check for determinant relationships, such as parts adding to a total or harvested acres being less than or equal to planted acres.</p>	<p>整合性エディット 確定的関係性のチェック。たとえば、合計に対する要素の関係や、収穫面積が必ず作付面積以下であるという関係。</p>
<p>CONSISTENCY ERROR Occurrence of the values of two or more data items which do not satisfy some predefined relationship between those data items.</p>	<p>整合性エラー 2つ以上のデータ項目の値が予め定義されたデータ項目間の関係条件を満足しないこと。</p>
<p>CONSISTENT EDITS A set of edits which do not contradict each other is considered to be consistent. If edits are not consistent, then no record can pass the edits.</p>	<p>整合的なエディット 相互に矛盾しないエディット（規則）は整合的であるとみなされる。エディットが整合的でないと、レコードはエディットをパスできない。</p>
<p>CORRECTION BASE A set of correct data or records from which date or records are retrieved for imputation in the (probably) erroneous data or records.</p>	<p>訂正用資料 正しいデータまたはレコードの集合で、そこから（おそらく）誤りのあるデータまたはレコードの補定に用いるデータまたはレコードを取り出す。</p>
<p>CORRECTION CYCLE A cycle in which corrections (changes) are made to a record according to an existing edit/imputation strategy. If the record fails at the end of a cycle, it is sent through the edit/imputation software subroutines until it passes or until a predetermined number of cycles has been exceeded.</p>	<p>訂正サイクル 既存のエディット・補定戦略に従って、レコードの訂正（変更）を行うサイクル。一つのサイクルの終了時点でレコードがエディットをパスしない場合には、それがエディットをパスするまで、または事前に設定されたサイクル数に達するまで、当該レコードはエディット・補定ソフトウェア・サブルーチンに送られる。</p>
<p>CORRECTION RULE A rule for correcting certain types of errors. Its general form is as follows: "If errors are detected by the checks e_1,, e_k, make a correction in this way: ".</p>	<p>訂正規則 特定の種類のエラーを訂正するための規則。一般に、次のような形式をとる。「検査e_1、…、e_kによってエラーが検出された場合には、次のように訂正を行う：」</p>
<p>CREATIVE EDITING A process whereby manual editors (i.e. those doing the manual review) invent editing procedures to avoid reviewing</p>	<p>クリエイティブ・エディティング 後続の機械エディットにおいて他のエラーメッセージを審査することになる事態を避けるため、人がエディティング処理に介入す</p>

another error message from subsequent machine editing.	るプロセス。
DATA CAPTURE The process by which collected data are put in a machine-readable form. Elementary edit checks are often performed in sub-modules of the software that does data capture.	データ取得・入力 収集されたデータを機械読取可能な形式にするプロセス。簡単なエディット・チェックは、しばしば、データ取得・入力を行うソフトウェアのサブモジュールで実施される。
DATA CHECKING Activity through which the correctness conditions of the data are verified. It also includes the specification of the type of the error or condition not met, and the qualification of the data and its division into the "error free" and "erroneous data". Data checking may be aimed at detecting error-free data or at detecting erroneous data.	データ・チェックング データの正確性を検査する作業。充足されない条件やエラー種類の特定のほか、データの適格性審査および「エラー無しデータ」と「エラーデータ」への仕分けもこれに含まれる。「エラー無しデータ」と「エラーデータ」を検出することが目的の場合もある。
DATA COLLECTION The process of gathering data. Data maybe observed, measured, or collected by means of questioning, as in a survey or census response.	データ収集 データを収集するプロセス。調査やセンサスのように質問などによってデータを観測、測定、または収集する。
DATA CORRECTION CORRECTION OF ERRORS IN DATA Activity of checking data which was declared (is possibly) erroneous.	データ訂正 エラーデータの訂正 エラー（の可能性がある）と診断されたデータをチェックする作業。
DATA EDITING The activity aimed at detecting and correcting errors (logical inconsistencies) in data.	データ・エディティング データのエラー（論理的矛盾）を検出し訂正することを目的とした作業。
DATA IMPUTATION Substitution of estimated values for missing or inconsistent data items (fields). The substituted values are intended to create a data record that does not fail edits.	データ補定 欠測または矛盾したデータ項目に推定値を代入すること。代替値は、エディットをパスするデータ・レコードを作成することを意図している。
DATA ITEM DATA FIELD The specific sub-components of a data record. For instance, in a population census, specific data items might be last name, first name, sex, and age.	データ項目 データ・レコードの構成要素。たとえば人口センサスでは、姓、名、性別、年齢などのデータ項目があるかもしれない。
DATA REDUNDANCY When the value of data items (fields) can be partially or completely deduced from the values of other data items (fields).	データ冗長性 データ項目の値が、部分的または完全に、他のデータ項目の値から推定できる場合をいう。

<p>DATA REVIEW / DATA CHECKING Activity through which the correctness conditions of the data are verified. It also includes the specification of the type of the error or condition not met, and the qualification of the data and its division into the "error-free" and "erroneous" data. Data checking may be aimed at detecting error-free data or at detecting erroneous data. Data review consists of both <i>error detection and data analysis</i>, and can be carried out in <i>manual or automated</i> mode. Data review/error detection may occur at many levels: a) within a questionnaire Item level / editing of individual data - the lowest logical level of checking and correction during which the relationships among data items are not considered. <i>Validations</i> at this level are generally named "range checking". Example: age must be between 0 and 120. In more complex range checks, the range may vary by strata or some other identifier. Example: if strata = "large farm operation", then the number of acres must be greater than 500. Questionnaire level / editing of individual records - a logical level of checking and correction during which the relationships among data items in one record/questionnaire are considered. Example 1. If married = 'Yes' then age must be greater than 14. Example 2. Sum of field acres must equal total acres in farm. Hierarchical - This level involves checking items in sub-questionnaires. Data relationships of this type are known as "hierarchical data" and include situations such as questions about an individual within a household. In this example, the common household information is on one questionnaire and each individual's information is on a separate questionnaire. Checks are made to ensure that the sum of the individual's data for an item does not exceed the total reported for the household. b) across questionnaires / editing of logical units A logical level of checking and correction during which the relationships among data in two or more records are considered, namely in a group of records that are logically coupled together. The across questionnaire edits involve calculating valid</p>	<p>データ審査／データ・チェック データの正確性を検査する作業。充足されない条件やエラー種類の特定のほか、データの適格性審査および「エラー無しデータ」と「エラーデータ」への仕分けなどもこれに含まれる。データ・チェックは「エラー無しデータ」や「エラーデータ」を検出することが目的の場合もある。データ審査はエラー検出とデータ分析の二つ過程から成り、人手と自動いずれの方法によっても実施することができる。 データ審査／エラー検出は、様々なレベルで実行される。 a) 調査票内 項目レベル／個々のデータのエディティング - 最も低位の論理的レベルのチェックおよび訂正。ここではデータ項目間の関係は考慮されない。このレベルの妥当性検査は、一般に「レンジ・チェック」と呼ばれている。例：「年齢は0歳から120歳までの間でなければならない。」より複雑なレンジチェックでは、範囲が層その他の識別子によって異なる。例：「もし、層＝『大規模な農場経営』ならば、面積は500エーカーより広くなければならない」 調査票レベル／個々のレコードのエディティング - 1レコード／調査票内のデータ項目間の関係を考慮したデータチェックおよび訂正の論理的レベル。例1：「もし、結婚している＝『はい』ならば、年齢は14歳より上でなければならない。」例2：「用途別面積の合計は農場の総面積と同じでなければならない。」 階層 - このレベルには、副調査票間の項目チェックが含まれる。このタイプのデータ間の関係は「階層データ」(hierarchical data)として知られ、一世帯内の個々人に関する質問があるなどの状況を含む。たとえば、世帯共通の事柄について1つの調査票で質問し、各個人については別々の調査票を用いる場合などがこれに該当する。このような場合、ある特定の項目に関する個人データの合計が世帯全体の合計値の回答を超えないよう、チェックが行われる。 b) 調査票間／論理的ユニット間のエディティング 2つ以上のレコード、すなわち論理的に繋がりのあるレコード・グループ内</p>
---	---

<p>ranges for each item from the survey data distributions or from historic data for use in <i>outlier</i> detection. <i>Data analysis</i> routines that are usually run at summary time may easily be incorporated into data review at this level. In this way, summary level errors are detected early enough to be corrected during the usual error correction procedures. The "across questionnaire" checks should identify the specific questionnaire that contains the questionable data.</p> <p>Across questionnaire level edits are generally grouped into two types: <i>statistical edits</i> and <i>macro edits</i>.</p>	<p>におけるデータ間の関係が考慮されるチェックおよび訂正の論理的レベル。調査票間エディットには、調査データの分布ないし過去のデータから得られた各項目の許容範囲の算出——外れ値 (outlier) の検出に利用される——も含まれる。通常、サマリーレベルで実行されるデータ分析ルーチンを、この段階でデータ審査に含めることも容易である。こうすると、サマリーレベルのエラーを通常のエラー訂正プロセスの中で検出し、早期に訂正することができる。調査票間チェックにより、問題のありそうなデータを含む調査票が特定される。</p> <p>調査票間エディットには通常、次の2種類がある：統計的エディットおよびマクロ・エディット。</p>
<p>DATA VALIDATION</p> <p>An activity aimed at verifying whether the value of a data item comes from the given (finite or infinite) set of acceptable values. For instance, a geographic code (field), say for a Canadian Province, may be checked against a table of acceptable values for the field.</p>	<p>データ・バリデーション/データの妥当性検査</p> <p>データ項目の値が(有限または無限の)容認される値の集合に入るか否かを検証する作業。たとえば、あるカナダの州の地域コード(項目)が同項目の容認される値の表と照合チェックされる。</p>
<p>DATA VALIDATION ACCORDING TO A LIST</p> <p>Verifying whether the data value is in the list of acceptable values of this data item.</p>	<p>リストに基づくデータの妥当性検査</p> <p>データの値がそのデータ項目の容認される値のリストに存在するか否かを検証すること。</p>
<p>DEDUCTIVE IMPUTATION</p> <p>An imputation rule defined by a logical reasoning, as opposed to a statistical rule.</p>	<p>演繹的補定</p> <p>統計的規則とは異なり、論理的な根拠によって定義される補定規則。</p>
<p>DETECTION OF ERRORS IN DATA (ERROR DETECTION)</p> <p>An activity aimed at detecting erroneous data. Usually predefined correctness criteria are used.</p>	<p>エラーデータの検出(エラー検出)</p> <p>誤りのあるデータを検出することを目的とする作業。通常、事前に定義された訂正基準が使用される。</p>
<p>DETERMINISTIC CHECKING RULE</p> <p>A checking rule which determines whether data items are incorrect with a probability of 1.</p>	<p>確定的チェック規則</p> <p>データ項目が確率 1 で正しくないかどうかを決定するチェック規則。</p>
<p>DETERMINISTIC EDIT</p> <p>An edit, which if violated, points to an error in the data with a probability of one. Example: Age 5 and Status = mother. Contrast with stochastic edit.</p>	<p>確定的エディット</p> <p>当該エディットをパスしない場合、確率 1 でデータにエラーがあることを示すエディット。例：5歳で、ステータス=母。確率的エディットと対比せよ。</p>

<p>DETERMINISTIC IMPUTATION The situation, given specific values of other fields, when only one value of a field will cause the record to satisfy all of the edits. For instance, it might occur when the items that are supposed to add to a total do not add to the total. If only one item in the sum is imputed, then its value is uniquely determined by the values of the other items. This may be the first situation that is considered in the automated editing and imputation of survey data.</p>	<p>確定的補定 他の項目の値が所与の場合に、ある項目の一つの値だけがそのレコードを全てのエディットについてパスさせる状況。たとえば、合計に加算するはずの項目を加算しない場合に起こりうる。合計する項目のうち一つ項目だけが補定される場合、その値は他の項目の値から一意に決定されることになる。こうした状況は、おそらく、調査データの自動エディティング・補定の際に最初に考慮される。</p>
<p>DONOR (imputation) In hot-deck edit/imputation, a donor is chosen from the set of edit-passing records based on its similarity to the fields in the record being donated to (being imputed within). Values of fields (variables) in the donor are used to replace the corresponding contradictory or missing values in the edit-failing record that is receiving information. This type of replacement may or may not assure that the imputed record satisfies edits.</p>	<p>ドナー (補定) ホットデック・エディット／補定では、補定されるレコードの項目との類似性を基にエディットをパスするレコードの集合からドナーが選択される。このドナーの項目値(変数)は、エディットをパスできなかったレコードの対応する矛盾もしくは欠測値と置き換えるために使用される。この種の置換は、補定されたレコードがエディットをパスすることを保証する場合もあるが、保証しない場合もある。</p>
<p>EDIT RULE SPECIFICATION CHECK RULE SPECIFICATION A set of check rules that should be applied in the given editing task.</p>	<p>エディット規則の仕様 チェック規則の仕様 所与のエディティング作業に適用されるチェック規則の集合。</p>
<p>EDITING BOUNDS Bounds on the distribution of a measure used on survey data so that when raw, unedited data are outside the bounds the data is subject to review and possible correction (change).</p>	<p>エディティング境界 調査データに適用する測定値の分布の境界。エディット前の生データがこの境界の外にある場合、当該データは審査され、訂正(変更)が行われる可能性がある。</p>
<p>EDITING EFFICIENCY An efficient edit is good at identifying suspicious data. Edits that incorrectly flag large amounts of valid data are not very efficient. If such edits require an analyst to re-contact the respondent to verify the data, the analyst will have less time to perform other tasks, such as converting non-respondents. The hit rate may be used as an indicator of editing efficiency.</p>	<p>エディティングの効率 効率的なエディティングは、疑わしいデータの特定に優れている。逆に、多くの有効データを誤ってパスさせないエディットは、あまり効率的ではない。そのようなエディットを行ったがために分析者が再び回答者に接触しデータを確認するのは時間の無駄であり、他の作業、たとえば無回答者を(回答者に)転換させるなどの時間が減ってしまうことになる。エディティングの効率性の指標として、ヒット率(hit rate)が使えるかもしれない。</p>
<p>EDITING INDICATORS (editing flag/editing code) A flag or code that is added during the edit process. The flag might indicate that, for</p>	<p>エディティング指標 (エディティング・フラグ/エディティング・コード) エディット・プロセスで付けられるフラグまたはコード。フラグを付けることによって、</p>

<p>example: a field in a record was targeted for change because it failed an edit, the field in the record was changed, or an override code was entered so that the edit system would no longer fail the record or the field in the record.</p>	<p>たとえば、あるレコード内の項目はエディットをパスできなかったために変更する対象であるとか、そのレコード内の項目は変更されたものであるとか、あるいは取り消しコードが入力されているといったことを示す。そうすることで、エディット・システムが当該レコードまたは項目を再びエディットしないようにする。</p>
<p>EDITING MATCH (matching fields/statistical match) For hot-deck imputation, the fields in an edit-failing record that do not fail edits are matched against edit-passing records. Often the edit-passing record that is closest to the edit-failing record in terms of some metric is chosen as the donor record. If the edit-passing records are in random order, then the (possibly erroneous) assumption is that the donation is at random from a valid set of donors. This type of matching is sometimes referred to as statistical matching.</p>	<p>エディティング照合（項目照合／統計的照合） ホットデック補定法の場合、エディットをパスできなかったレコードの項目は、エディットをパスするレコードと照合される。エディットをパスできなかったレコードと計量的に最も近いエディットをパスするレコードが、ドナーレコードとしてしばしば選択される。エディットをパスするレコードがランダムな順序で配列されている場合には、ドナーの集合からランダムにドナーが選定されたと仮定される（誤りである可能性もある）。この種のマッチングのことを統計的照合と呼ぶこともある。</p>
<p>EDIT(ING) MATRIX A matrix used in editing. In hot-deck imputation, the matrix contains information from edit-passing records that is used to donate information to (impute values in) the edit-failing record. Typically, there will be a variety of matrices that correspond to the different sets of variables that are matched on. The matrices are updated continuously as a file of records is processed and additional edit-passing records become available for updating the matrices.</p>	<p>エディット(テイング)行列 エディティングで使用される行列。ホットデック補定法では、エディットをパスできなかったレコードの補定に用いるエディットをパスするレコードの情報が含まれる。一般的に、照合する変数（項目）セットに応じて異なる行列が存在する。これらの行列は、レコード・ファイルが処理され、新たなエディットをパスするレコードが利用できるようになるため、継続的に更新される。</p>
<p>EDITING MEASURE A formal measure such as the Hidiroglu-Berthelot statistic that allows delineation of a targeted subset of records for manual follow-up. The statistic might be a measure such as size that allows the most important respondents to be manually reviewed.</p>	<p>エディティング尺度 人手によるフォローアップの対象となるレコードの部分集合を決める Hidiroglu-Berthelot 統計などの公式尺度。統計値は、最も重要な回答者を人手審査できるよう、サイズ（規模）などを尺度とすることも考えられる。</p>
<p>EDITING OF INDIVIDUAL DATA The lowest logical level of checking and correction during which the relationships among data items are not considered.</p>	<p>個々のデータのエディティング チェックおよび訂正の最も低位の論理的レベル。ここではデータ項目間の関係は考慮されない。</p>
<p>EDITING OF INDIVIDUAL RECORDS Logical level of checking and correction during which the relationships among data items in one record are considered.</p>	<p>個々のレコードのエディティング チェックおよび訂正の論理的レベルの一つ。ここでは 1 レコード内のデータ項目間の関係が考慮される。</p>

<p>EDITING OF LOGICAL UNITS A logical level of checking and correction during which the relationships among data in two or more records are considered, namely in a group of records that are logically coupled together.</p>	<p>論理的ユニット間のエディティング チェックおよび訂正の論理的レベルの一つ。ここでは論理的に繋がりのある複数レコードのデータ間の関係が考慮される。</p>
<p>EDITING PROCEDURE The process of detecting and handling errors in data. It usually includes three phases:</p> <ul style="list-style-type: none"> • the definition of a consistent system of requirements, • their verification on given data, and • elimination or substitution of data which is in contradiction with the defined requirements. 	<p>エディティングの手順 データにあるエラーを検出し処理するプロセス。通常、次の3つの段階が含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要件の整合的体系を定義する段階 • 所与のデータにより、それらを検証する段階 • 定義された要件に矛盾するデータを除去または代替する段階
<p>EDITING RATIONALITY An editing process that focuses on improving the incoming data quality and hence the overall quality of the survey data. This may include moving most of the editing as close as possible to the collection of data, limiting manual follow-up to those flagged records with the heaviest potential impact on estimates, and applying a total quality management approach to data editing.</p>	<p>合理的なエディティング 入ってくるデータの質、最終的には調査データ全体の質を高めることに焦点を合わせたエディティング・プロセス。大部分のデータ・エディティングをできる限りデータ収集に近いところに移行したり、人手によるフォローアップを潜在的に最も重大な影響を集計値に及ぼしうるフラグが立ったレコードに限定したり、データ・エディティングに総合的品質管理手法 (Total Quality Management; TQM) を採用することなどが含まれる。</p>
<p>ELECTRONIC QUESTIONNAIRE Questions are in a software system that can be answered by an individual. Examples might be a software system that is on a laptop computer where respondents can answer questions directly into the laptop (possibly without knowledge on the part of interviewers of the details of the answers) or through queries on an Internet page.</p>	<p>電子調査票 個人が回答できるソフトウェア・システム上の質問群。たとえば、回答者がラップトップ・コンピュータ、あるいはインターネット上のページから、直接質問に答えることのできるソフトウェア・システム (調査員の側に回答の詳細についての知識があるとは限らない)。</p>
<p>ERROR DETECTING CHARACTER Character added to the basic characters of the code word. Its relationship to the basic characters is specified previously. The relationship is specified so that typical errors in the code word transmitted break this relationship.</p>	<p>エラー検出文字 符号の基本的な文字列に追加された文字。基本的な文字列とエラー検出文字の関係は事前に指定される。このように関係を指定しておけば、送信時に符号に一般的エラーが生じると関係が壊される。</p>
<p>ERROR DETECTING CHARACTERS CHECK-DIGIT Code or given set of code words whose relationship to the set of valid codes is known, such that when a transcription error occurs, the relationship is violated and the error is detected with certainty or very high</p>	<p>エラー検出文字 チェック・ディジット 有効な符号との関係が既知である符号。これにより、転写エラーが発生するとその関係が壊され、確実に又は非常に高い確率でエラーが検出される。</p>

probability.	
<p>ERROR DETECTION An activity aimed at detecting erroneous data, using predefined correctness criteria. The correctness criteria can be defined through various <i>checking rules</i>.</p>	<p>エラー検出 事前に定義された訂正基準を使って、エラーのあるデータを検出することを目的とする作業。訂正基準は、様々なチェック規則によって定義することができる。</p>
<p>ERROR LOCALIZATION The (automatic) identification of the fields to impute in an edit-failing record. In most cases, an optimization algorithm is used to determine the minimal set of fields to impute so that the final (corrected) record will not fail edits.</p>	<p>エラー特定 エディットをパスしないレコードについて、補定する項目を（自動的に）特定すること。多くの場合、最終的な（訂正済み）レコードがエディットをパスするよう、最適化アルゴリズムを使用して補定する最小限の項目が決定される。</p>
<p>ERROR STATISTICS A statistical report of errors found. It usually provides the error rate in individual data items and the occurrence of particular kinds of errors.</p>	<p>エラー統計 発見されたエラーの統計報告。通常、個々のデータ項目のエラー率と特定の種類のエラーの発生頻度が報告される。</p>
<p>EVALUATION OF EDITING There are several methods available to evaluate an edit system. One method is to compare the raw (unedited) data file with the edited file for each question. By ordering the changes by descending absolute magnitude, the cumulative impact of the editing changes to the total editing change or to the estimated item total can be displayed in graphs and tables. This technique can be used to identify questionnaire problems and respondent errors. When forms are reviewed before data capture or when general editing changes are noted on the questionnaires, evaluation studies can be carried out by selecting a sample of forms and analysing the effect of the editing procedures on individual data items. A widely used technique to evaluate new editing methods is to simulate the new process using a raw data file from the survey. By replacing values flagged according to the new method with the values from the tabulation file containing the data edited by the alternative editing process, it becomes possible to compare estimates from this newly edited file with estimates from the tabulation file.</p>	<p>エディティングの評価 エディット・システムの評価に利用できる方法は幾つかある。一つは、質問ごとに（エディットしていない）生データ・ファイルをエディット済みのファイルと比較する方法である。変更をその幅の絶対値の降順に並び替え、エディットによる変更全体又は項目の推定合計に対する変更の累積的影響をグラフや表で示すことができる。この手法は、調査票の問題点や回答エラーを特定するために使用できる。データ取得の前に調査票様式（form）を検討する場合、あるいは一般的なエディティングによる変更と調査票の関係に注意する場合には、様式のサンプルを選んで個々のデータ項目に対するエディティングの手順の影響を分析することにより評価を行なうことができる。新しいエディティングの方法を評価するために広く採用されている手法は、調査によって得られた生データ・ファイルを使用して新たなプロセスをシミュレートするやり方である。新たな方法に従ってフラグ付けされた値を別のエディティング・プロセスでエディットされた値と置き換えることにより、この新たなエディット済ファイルから得られた推定値を集計ファイルの推定値と比較することが可能となる。</p>
<p>EXPERT SYSTEM Computer system that solves complex problems in a given field using knowledge and inference procedures, similar to a</p>	<p>エキスパート・システム 特定の分野の専門的知識をもつ人間と同じように、知識と推論を用いて当該分野の複雑な問題を解決するコンピュータ・システム。</p>

human with specialized knowledge in that field.	
EXPLICIT EDIT An edit explicitly written by a subject matter specialist. (Contrast explicit edits with implied or implicit edits.)	明示されたエディット 担当職員によって明示的に記述されたエディット (規則)。(Implicit edits (インプリシット・エディット) と比較せよ。)
EXPLICITLY DEFINED CONFLICT RULE A conflict rule which is defined by the people responsible for the correctness of the data.	明示的に定義された矛盾型規則 データの正確性を所管する者によって定義された矛盾型規則。
FATAL ERRORS Errors identified by fatal edits.	致命的エラー 致命的エディットによって特定されたエラー。
FAILED EDIT GRAPH As used by the U.S. Bureau of the Census, a graph containing nodes (corresponding to fields) which are connected by arcs (an arc between two nodes indicates that the two fields are involved in an edit failure.) Deleting a node is equivalent to choosing that field to be imputed. A minimal set of deleted nodes is equivalent to a minimal set as defined by Fellegi and Holt.	エディット・ノード・グラフ 米国センサス局で使用されている、(調査項目に対応した) ノード・グラフ。各ノードは弧によって結ばれている (ノードとノードの間の弧は対応する 2 つの項目を含むパスでできなかったエディット規則が存在することを示す)。ノードを削除することは、補定する項目を選択したことを意味する。削除するノード数が最小限のノード集合は、Fellegi and Holt によって定義された最小限の補定箇所と同等である。
FATAL EDIT Identifies data errors with certainty. Examples are a geographic code for a Canadian province that does not exist in a table of acceptable geographic codes.	致命的エディット は、(パスできない場合) 確実にデータ・エラーであることを示す。たとえば、カナダの州の地域コードに関するデータが地域コード表に存在しないような場合。
FELLEGI- FACTOR CHECK Check of measuring units verifying whether the data has been given in correct units.	Fellegi ファクター・チェック 記入単位をチェックすること。それにより、データが正しい単位で回答されたかどうかを検証する。
FELLEGI-HOLT SYSTEMS, TENETS, PRINCIPLES In reference to assumptions and editing and imputation goals put forth by Fellegi and Holt in their 1976 <i>Journal of the American Statistical Association</i> paper. A key feature of the Fellegi-Holt model is that it shows that implied edits are needed to assure that a set of values in data fields that are not imputed always lead to final (imputed) records that satisfy all edits.	Fellegi-Holt システム、主義、原則 Fellegi and Holt が 1976 年の " <i>Journal of the American Statistical Association</i> " に掲載した論文で提唱した仮説およびエディティング・補定の目標。Fellegi-Holt モデルの一つの主な特徴は、補定していないデータ項目の値を常に全エディット規則をパスする最終的な (補定済み) レコードに確実に変更するには、インプリシットなエディットの生成が必要になることを示した点である。 (訳注, 全エディット規則をパスできるような補定のうち、最小補定項目集合を選択することも Fellegi-Holt 法の主な特徴である。)

<p>FIXED CONSTRAINT CHECK RANGE CHECK Verifying whether the data item value is in the previously specified interval.</p>	<p>固定的制約チェック レンジ・チェック データ項目の値が事前に指定された範囲に在るか否かを検証すること。</p>
<p>FUNCTIONAL CHECK ARITHMETIC EDIT Verifying whether the given functions of two or more data items meet the given condition.</p>	<p>関数チェック 算術エディット 複数のデータ項目に関する所与の関数が所与の条件を満たすか検証すること。</p>
<p>GENERATED (versions of) QUESTIONNAIRES There are software systems that assist in designing and electronically generating paper questionnaires.</p>	<p>コンピュータ生成 (版) 調査票 紙の調査票を設計し電子的に生成するのに支援するソフトウェア・システムがある。</p>
<p>GRAPHICAL EDITING Using graphs to identify anomalies in data. While such graphical methods can employ paper, the more sophisticated use powerful interactive methods that interconnect groups of graphs automatically and retrieve detailed records for manual review and editing.</p>	<p>グラフィカル・エディティング グラフを使用してデータ内の矛盾 (anomaly) を特定すること。この方法は紙面を利用することもできるが、より高度化されたものでは、グラフ間を自動的に関係させ、人手審査及びエディティングのために詳細なレコードを取り出す強力な対話型手段を用いる。</p>
<p>"HEADS-DOWN" DATA ENTRY Data entry with no error detection occurring at the time of entry. Data entered in a heads down mode is often verified by re-keying the questionnaire and comparing the two-keyed copies of the same questionnaire. Data entered in a "heads-down" fashion may later be corrected in either a "batch" or an "interactive" data review process.</p>	<p>「ヘッドダウン」式データ入力 入力時にエラー検出をしないデータ入力方式。ヘッドダウン方式で入力したデータは、しばしば再入力したデータと比較することによって検証される。「ヘッドダウン」方式で入力されたデータは、後に「バッチ」方式または「対話」方式いずれかのデータ審査プロセスで訂正される可能性がある。</p>
<p>"HEADS-UP" DATA ENTRY Data entry with a review at time of entry. Heads up data entry requires subject-matter knowledge by the individuals entering the data. Data entry is slower, but data review/adjustment is reduced since simple inconsistencies in responses are found earlier in the survey process. This mode is very effective when the interviewer or respondent enter data during the interview (CAI).</p>	<p>「ヘッドアップ」式データ入力 入力時にチェックを行うデータ入力方式。ヘッドアップ方式でデータを入力する場合、入力者はその分野の知識を有している必要がある。データを入力するスピードは遅いが、回答中の単純な矛盾は調査プロセスで早期に発見されることになるため、データ審査/調整が減少する。調査員が質問しながらデータ入力する場合 (CAI) あるいは回答者が直接入力する場合には、この方式は非常に効率的である。</p>
<p>HIT RATE The "success" rate of an edit; the proportion of error flags that the edit generates which point to true errors.</p>	<p>ヒット率 エディットの「成功」率。または、エディットが立てるエラー・フラグのうち真にエラーであるものの割合。</p>

<p>HOLT METHOD FOR AUTOCORRECTION Automatic correction method in which the least possible number of data items is changed and the Fellegi-Holt model is used to determine acceptable sets of values or ranges for the items that are imputed. Sequential or simultaneous imputation via cold-deck or hot-deck method may be applied.</p>	<p>Holt 方式自動訂正 変更されるデータ項目の数を可能な限り最小限に抑える自動訂正の方法。Fellegi-Holt モデルを使用して、補定する項目の値の集合または容認範囲を決定する。コールドデッキ方式またはホットデッキ方式による逐次補定法（項目ごとに異なるドナーから補定）または同時補定法（単一ドナーによる補定）を適用することもできる。</p>
<p>HOT-DECK A correction base for which the elements are continuously updated during the data set check and correction. Typically edit-passing records from the current database are used in the correction database (see COLD-DECK).</p>	<p>ホットデッキ 訂正用資料の一種。ホットデッキの場合、その構成要素はデータセットがチェックされ訂正される間、継続的に更新される。一般的には、チェックを行っているデータのうちエディットをパスするレコードが使用される。（Cold Deck（コールドデッキ）の項も参照）</p>
<p>HOT-DECK IMPUTATION A method of imputation whereby values of variables for good records in the current (hot) survey file are used to impute for blank values of incomplete records (see COLD-DECK).</p>	<p>ホットデッキ補定法 補定法の一種。この方法では、不完全なレコード内のブランク値（欠測値）は、チェックを行っている（ホットな）調査ファイルにある適正レコードの変数値を使用して補定される。（Cold Deck（コールドデッキ）の項も参照のこと）</p>
<p>IMPLIED CONFLICT RULE Conflict rule which can be deduced from the explicitly given conflict rules.</p>	<p>インプリシットな矛盾型規則 明示的に与えられた矛盾型規則から導出される矛盾型規則。</p>
<p>IMPLIED EDIT An unstated edit derived logically from explicit edits that were written by a subject matter specialist.</p>	<p>インプリシット・エディット 担当職員が与えた明示的なエディット（規則）から論理的に導出される暗黙のエディット（規則）。</p>
<p>IMPUTATION A procedure for entering a value for a specific data item where the response is missing or unusable.</p>	<p>補定 回答が欠測しているか使用不能なデータ項目に値を入れる手続き。</p>
<p>IMPUTATION VARIANCE A component of the total variance of the survey estimate introduced by the imputation procedure.</p>	<p>補定に伴う分散 調査推定値の総分散のうち、補定によってもたらされた構成部分。</p>
<p>INLIER An <i>inlier</i> is a data value that lies in the interior of a statistical distribution and is in error. Because inliers are difficult to distinguish from good data values they are sometimes difficult to find and correct. A simple example of an inlier might be a value in a record reported in the wrong units, say degrees Fahrenheit instead of degrees</p>	<p>インライア 統計分布の内側に在るがエラーのデータ値。インライアを適正なデータ値から区別することは容易でないため、発見し訂正することが難しい場合がある。簡単な例としては、たとえばセ氏温度のところをカ氏温度にしてしまった場合のように、誤った単位で報告された値はインライアになるかもしれない。（訳注、<i>Inlier</i> を適正なものも含めて統計分</p>

Celsius.	布の内側にあるデータ値 (つまり, <i>outlier</i> でないデータ値) の意味で用いている分野もあることに留意。
INPUT-EDITING Editing that is performed as data is input. The editing may be part of a data entry system.	入力時エディティング データが入力されるたびに実行されるエディティング。エディティングがデータ入力システムの一部になっている場合もある。
INTEGRATED SURVEY PROCESSING The concept that all parts of the survey process be integrated in a coherent manner, the results of one part of the process automatically giving information to the next part of the process. The Blaise system is an example of integrated software in which the specification of the Blaise Questionnaire gives rise to a data entry module as well as CATI and CAPI instruments. The goals of Integrated Survey Processing include the one-time specification of the data, which in turn would reduce duplication of effort and reduce the numbers of errors introduced into the system due to multiple specifications.	統合型調査処理 調査プロセスの全ての部分を一貫したものに統合して処理する考え方。このような処理では、プロセスの一部が終わると、その結果が情報として自動的に次の部分に伝えられる。たとえば、統合型処理ソフトウェアの例として、Blaise system がある。同システムでは、Blaise 調査票を作成することよりデータ入力モジュールとともに CATI および CAPI 用システムが作成される。統合型調査処理の目的は、データの仕様の設定を一度きりにすることで、複数回設定する場合に比べて作業重複やシステムにおけるエラー発生数を減少させることにある。
INTERACTIVE DATA REVIEW/ INTERACTIVE EDITING/ ONLINE CORRECTION Checking and correcting data in dialogue mode using video terminals. It can be applied during data entry or on data that are already in machine-readable form. The questionnaire is immediately reviewed after adjustments are made. The results are shown on a video terminal and the data editor is prompted to adjust the data or override the error flag. This process continues until the questionnaire is considered acceptable by the automated review process. Then results of the next questionnaire's review by the auto review processor are presented. A desirable feature of Interactive Data Editing Software is to only present questionnaires requiring adjustments.	対話式データ審査/ 対話式エディティング/ オンライン訂正 ビデオ端末を利用して会話方式でデータをチェックし訂正すること。データ入力時または既に機械読取可能な形式になっているデータに対して適用される。調査票は調整(変更)が施された後、ただちに審査される。結果はビデオ端末に表示され、審査担当者によってデータの調整(再変更)またはエラー・フラグの無効化が促される。このプロセスは、調査票が自動審査プロセスによって容認可能であると判断されるまで継続する。それが終わると、自動審査システムにより次の調査票の審査結果が表示される。対話式データ・エディティング・ソフトウェアの望ましい点は、調整(変更)が必要な調査票だけが提供されることにある。
LEAST SQUARES METHOD FOR AUTOCORRECTION FEERD-HASTLY METHOD An automatic correction method in which: 1. the least possible number of data items are changed 2. the changed record is the closest one (measured by the weighted sum of squares of deviations of the changed data) to the	最小二乗法による自動訂正 Feerd-Hastly 法 自動訂正方法の一つ。この方法には、次のような特長がある。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 可能な限り最小のデータ項目数しか変更されない。 2. 変更されるレコードは元の(正しくない)レコードに最も近いものが選択される(変更されたデータの偏差の二乗

original (incorrect) record.	加重和によって測定される)。 (訳注, Freund-Hartley 法とすべきかもしれない。変更したレコードがエディットをパスすることが保証されないなど, 論理チェックには適さない。)
<p>LINEAR EDITS Edits arising from linear constraints. For example, if v_1, v_2, v_3 are variables and $a, b,$ and c are real constants, the linear inequality edits are given by:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. $a \# v_1 / v_2 \# b$ (This is two edits. Each can be converted to linear inequality.). 2. $a v_1 + b v_2 \# c$. 3. $v_1 + v_2 = v_3$. 	<p>線形エディット 線形形式の制約式で表されるエディット。たとえば、もしv_1, v_2, v_3が変数で、$a, b,$ およびcが実数定数ならば、次の式は線形不等式エディットとなる。すなわち、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. $a \# v_1 / v_2 \# b$ (これはエディットが2つであることを示している。いずれのエディットも一次不等式に変換することができる。) 2. $a v_1 + b v_2 \# c$ 3. $v_1 + v_2 = v_3$
<p>LOGICAL CONDITION CHECK Verifying whether the given logical condition is met. It is usually employed to check qualitative data.</p>	<p>論理的条件チェック 与えられた論理的条件が充足されているかどうかを検証すること。通常、質的データをチェックする際に採用される。</p>
<p>LOGICAL LEVEL OF THE CHECKING RULE The logical level of the data structure to which the given checking rule refers (individual data item, record, logical group of records, and the like).</p>	<p>チェック規則の論理的レベル 当該チェック規則が参照するデータ構造の論理的レベル (個々のデータ項目、(個々の)レコード、論理的に繋がりのあるレコード・グループなど)。</p>
<p>MACRO-EDIT SELECTIVE EDIT Detection of individual errors by: 1) checks on aggregated data, or 2) checks applied to the whole body of records. The checks are typically based on the models, either graphical or numerical formula based, that determine the impact of specific fields in individual records on the aggregate estimates.</p>	<p>マクロ・エディット 選択的エディット 次のチェックによって個々のエラーを検出すること。1) 集計値データのチェック、2) レコード(・ファイル)全体に対するチェック。チェックは通常、グラフによるか数式によるかにかかわらず、個々のレコードの特定項目が集計値に与える影響度を決定するモデルに基づいて実施される。</p>
<p>MANUAL CORRECTION A human activity aimed at changing the values of data items deemed erroneous. The correction specified usually on the diagnostic list is entered into the data set by means of a program specially written for this purpose.</p>	<p>人手による訂正 誤りと思われるデータ項目の値を変更することを目的とした人的作業。訂正は通常診断リスト上に書き込まれ、この目的のために作成されたプログラムによってデータセットに入力(訂正を実行)される。</p>
<p>MANUAL DATA REVIEW May occur prior to data entry. The data may be reviewed and prepared/corrected prior to key-entry. This procedure is more typically</p>	<p>人手によるデータ審査 データ入力の前に実施されることもある。データはキー入力の前に審査され、作成/訂正される。このプロセスは、ヘッドダウン式デ</p>

followed when heads-down data entry is used.	一タ入力の際に採用されることが多い。
MICROEDITING Finding errors by inspection of individual observations. Editing done at the record, or questionnaire level.	マイクロ (ミクロ)・エディティング 個々のデータをチェックしてエラーを発見すること。エディティングはレコードレベルまたは調査票レベルで実施される。
MINIMAL SET OF CONFLICT RULES A minimal subset of the complete set of conflict rules expressing the same erroneous data combinations as the complete set of conflict rules.	矛盾型規則の最小集合 最小限の完全な矛盾型規則の集まり。同じエラーデータの組み合わせを、矛盾型規則の完全な集合として表現している。
MINIMAL SET OF FIELDS TO IMPUTE The smallest set of fields requiring imputation that will guarantee that all edits are passed. See also <i>weighted minimal set</i> .	最小補定項目集合 すべてのエディットをパスすることが保証される補定項目の集まりのうち、最小のもの。WEIGHTED MINIMAL SET (重み付き最小限集合) の項も参照のこと。
MONITORING OF EDITING Analyzing the audit trail and evaluating the edits for efficiency.	エディティングの監視 監査証跡を分析し、エディティングの効率性を評価すること。
MONTE-CARLO METHOD FOR AUTOCORRECTION An automatic correction method in which the corrected data value is randomly chosen on the basis of a previously supplied probability distribution for this data item. The method employs computer algorithms for generating pseudo-random variables with the given probability distribution.	モンテカルロ方式による自動訂正 自動訂正の方法の一つ。この方法では、訂正されるデータの値は事前に用意されたそのデータ項目の確率分布に基づきランダムに選択される。用意された確率分布に基づいて擬似ランダム変数を生成するのにコンピュータ・アルゴリズムが使用される。
MULTI-LEVEL MODELING IMPUTATION An imputation rule defined by a sequence of decisions each based on exclusive sets of observations.	多重モデリング補定法 互いに排他的な測定値の集合に基づく決定の列によって定義される補定法。
MULTIVARIATE EDIT A type of statistical edit where multivariate distributions are used to evaluate the data and to find <i>outliers</i> .	多変量エディット 統計的エディットの一つ。このエディットでは、データを評価し外れ値を発見するのに多変量分布が使用される。
NONLINEAR EDITS Edits from non-linear constraints. For example, if v_1 and v_2 are variables and b are real constants, then nonlinear edits are: 1. $v_1 v_2 \# a$. 2. $v_1 \# \exp(v_2)$. 3. conditional edits. 4. Mahalanobis-distance edits with	非線形エディット 非線形形式の制約式で表されるエディット。たとえば、もし v_1 と v_2 が変数で、 b が実数定数ならば、次は非線形エディットである。 1. $v_1 v_2 \# a$ 2. $v_1 \# \exp(v_2)$ 3. 条件付きエディット

<p>multivariate normal data.</p> <p>The importance of nonlinear edits is that they occur often but are not amendable to theory in the determination of a minimal set. Some nonlinear edits, such as ratio edits, can be cast in a linear form.</p>	<p>4. 多変量正規データにおけるマハラノビスの距離によるエディット</p> <p>非線形エディットの重要性は、頻繁に利用されるものの最小補定項目集合を決定する理論が対応できない点にある。比率エディットなど幾つかの非線形エディットは、線形エディットに表現し直すことができる。</p>
<p>NIM (<i>new imputation methodology</i>)</p> <p>A generalization of the hot-deck that employs sophisticated matching methods to choose potential donors from a pool of edit-passing records that most closely resemble the edit-failing record being donated to. The method uses additional metrics for comparing numeric data and specific logic to assure that records satisfy edits that are not available with traditional hot-deck methods.</p>	<p>新補定法</p> <p>エディットをパスするレコードの中から、補定すべきエディットをパスできないレコードに最も類似しているドナーを選択するように高度な照合方法を採用した一般化したホットデック法。この方法では、数値データと特定のロジックを比較するために追加的な計量尺度が用いられる。それにより、従前のホットデック法ではできなかった(補定した)レコードがエディットをパスすることが保証される。</p> <p>(訳注, NIM は "near minimum change imputation action" 「近似的最小補定法」になっており, 「最小補定法」である Fellegi-Holt 法に対する利点の一つは, 非線形エディットも適用可能なことである。)</p>
<p>NORMAL FORM OF CONFLICT RULE</p> <p>A conflict rule which is defined by the logical product of conditions on the values of individual data items in a record. For example, the conflict (branch - (101, 107, 112); production 104, 180; efficiency 0.8) is a conflict in the normal form (CAN-EDIT).</p>	<p>矛盾型規則の正規形式</p> <p>レコード内の個々のデータ項目値に関する条件の論理積によって定義される矛盾型規則。たとえば、(branch - (101, 107, 112); production 104, 180; efficiency 0.8) という矛盾型規則は、正規形式である (CAN-EDIT)。</p> <p>(訳注, CAN-EDIT は, カナダ統計局開発の汎用エディティング・システムの名称と思われる。例の表記法が CAN-EDIT の形式になっていると思われる。)</p>
<p>ON-LINE CORRECTION</p> <p>Correcting the values in erroneous data items of a previously checked data set on a video terminal.</p>	<p>オンライン訂正</p> <p>ビデオ端末で以前にチェックされたデータセットのうち誤りと思われるデータ項目の値を訂正すること。</p>
<p>OUTLIER</p> <p>An <i>outlier</i> is a data value that lies in the tail of the statistical distribution of a set of data values. The intuition is that outliers in the distribution of uncorrected (raw) data are more likely to be incorrect. Examples are data values that lie in the tails of the distributions of ratios of two fields (ratio edits), weighted sums of fields (linear inequality edits), and Mahalanobis distributions (multivariate normal) or outlying points to point clouds of graphs.</p>	<p>外れ値</p> <p>「外れ値」とは、データ値の集合の統計的分布の裾に在るデータ値を指す。未訂正の(生)データの分布の外れ値は、直観的に正しくない可能性がある。例として、2つの項目の比率の分布(比率エディット)や項目の加重和の分布(線形不等式エディット)、およびマハラノビス分布(多変量正規分布)の裾にあるデータ値や、グラフ上の密集している点の外に在る点などがある。</p>
<p>OVEREDITING</p>	<p>過剰エディティング</p>

Editing of data beyond a certain point after which as many errors are introduced as are corrected.	訂正されるエラーと同じ数の誤った訂正を行ってしまう限界点を越えるデータのエディティング。
PROBABILISTIC CHECKING RULE A checking rule causing, with some small probability, incorrect qualification of data (i.e., it may identify actually correct data as incorrect and identify incorrect data as correct).	確率的チェック規則 確率は小さいが、間違った判定を行う可能性のあるチェック規則（たとえば、実際には正しいデータを正しくないと特定したり、正しくないデータを正しいと特定してしまう可能性がある）。
PROBABILISTIC IMPUTATION An imputation rule that is in part a function of a randomization process exogenous to the experimental observations.	確率的補定 補定規則の一つ。部分的には、観測値に対して外生的なランダム化処理する機能の一つでもある。
QUALITATIVE DATA Data describing the attributes or properties that an object possesses. The properties are categorized into classes that may be assigned numeric values. However, there is no significance to the data values themselves, they simply represent attributes of the object concerned.	質的データ 客体のもつ属性または特性を示すデータ。特性は数値を割り当てられた幾つかの階級に分類されるが、データ値自体に重要性は無く、単に当該客体の属性を示すに過ぎない。
QUALITY CONTROL ... of the data collection process assures that the underlying statistical assumptions of a survey are not violated, i.e. the meaning of the principal statistical measures and the assumptions which condition their use is maintained. ... in data review process measures the impact of data adjustment on the data.	品質管理 ... データ収集プロセス においては、調査の基本的な統計的前提が破られないよう保証する。すなわち、主要な統計測定値の意味とその使用を条件付ける前提が維持される。 ... データ審査プロセス においては、データ調整（変更）が当該データにどのような影響を与えるかが測定される。
QUANTITATIVE DATA Data expressing a certain quantity, amount or range. Usually, there are measurement units associated with the data, e.g. meters, in the case of the height of a person. It makes sense to set boundary limits to such data, and it is also meaningful to apply arithmetic operations to the data.	量的データ 一定の量、額または範囲を示すデータ。通常、そのデータに特有の測定単位を伴う（例：人の身長を示す場合は「メートル」）。このようなデータに境界を設定したり、算術演算（エディット）を適用することは意味がある。
QUERY EDIT Points to suspicious data items that may be in error. An example could be a value that, compared to historical data, seems suspiciously high. Contrast query edit to <i>fatal edit</i> where data item is known with certainty to be in error.	確認エディット エラーがあると思われる疑わしいデータ項目を指摘すること。たとえば、過去のデータと比較するなどして、高い確率で疑わしいと思われる値を見つけること。データ項目に確実にエラーがある場合の“Fatal edit”（確定的エディット）と対比せよ。
QUERY ERRORS	確認エラー

Errors identified by query edits.	確認エディットによって特定されたエラー。
RATIO EDIT An edit in which the value of a ratio of two fields lies between specified bounds. The bounds must be determined through a priori analyses (possibly involving data sets in which truth data are available) or via exploratory data analysis methods.	比率エディット 2つの項目の比率値が指定された境界の中にあるかをチェックするエディット。境界は、先験的分析——真のデータを利用できる場合——や、探索的データ解析などの方法によって決定されなければならない。
REJECTION RULE / CONFLICT RULE A logical condition or a restriction to the value of a data item or a data group which must not be met if the data is to be considered correct. In various connections other terms are used, e.g. Y-rule.	矛盾型規則 データ項目またはデータ群の値に対する論理的条件または制約の一つ。これが充足されると、そのデータは誤っているとみなされる。様々な状況に応じて、Y規則など、異なる用語が用いられる。
REPEATABILITY The concept that survey procedures should be repeatable from survey to survey and from location to location; the same data processed twice should yield the same results. (Also called reproducibility.)	反復可能性 調査手順は調査や場所に関して反復可能であるべきとする考え方。同じデータを加工した結果は同じになるべきという考え方。(再現性ともいう。)
REPORT ON ERRORS ERROR DIAGNOSTICS A report which usually contains the record identification, violated conditions, items that are probably erroneous, etc.	エラー報告 エラー診断 通常、条件をパスできなかったレコードのID、多分エラーであろう項目などが含まれたレポート。
SCORE FUNCTION A numerical indicator used to prioritize micro data review in selective editing.	スコア関数 選択的エディティングで、マイクロデータ審査の優先順位を付与する数値指標。
SELECTIVE EDITING A procedure which targets only some of the micro data items or records for review by prioritizing the manual work and establishing appropriate and efficient process and edit boundaries.	選択的エディティング 人手作業の優先順位を付け、適当かつ効率的な処理とエディット境界を設定することにより、審査するマイクロデータ項目またはレコードを絞る手続。
SEQUENTIAL CORRECTION SEQUENTIAL IMPUTATION A correction where the items intended for the correction are corrected sequentially.	逐次訂正 逐次補定法 訂正すべき項目の訂正を逐次的に行う方式。
SIMULTANEOUS CORRECTION SIMULTANEOUS IMPUTATION A correction in which all the data in a record intended for correction is corrected at the same time (e.g., by using the record from a hot deck or cold deck).	同時訂正 同時補定法 レコード内の訂正すべき全てのデータを同時に訂正する方式。(たとえば、ホットデッキまたはコールドデッキから得たレコードを使用して行われる。)

<p>SPECIFICATIONS GENERATOR A module in an editing system from which files for paper questionnaires, data entry modules, editing software, CATI, CAPI, and summary software are generated. The specifications generator is the unifying feature in Integrated Survey Processing software. In the Blaise system, the Blaise Questionnaire can be considered to be a specifications generator. The specifications generator contains information relating to the data to be collected as well as to the edits and routes to be applied to the data.</p>	<p>仕様ジェネレーター エディティング・システムのモジュールの一つ。このモジュールから紙の調査票、データ入力モジュール、エディティング・ソフトウェア、CATI、CAPI、および集計ソフトウェアのファイルが生成される。仕様ジェネレーターは統合型調査処理の共通の特長でもある。Blaise システムでは、Blaise 調査票が仕様ジェネレーターであると捉えることができる。仕様ジェネレーターには収集されるデータに関する情報のほか、そのデータに適用されるエディットとルートに関する情報も含まれる。</p>
<p>STATISTICAL EDIT A set of checks based on statistical analysis of respondent data, e.g., the ratio of two fields lies between limits determined by a statistical analysis of that ratio for presumed valid reporters. A statistical edit may incorporate cross-record checks, e.g., the comparison of the value of an item in one record against a frequency distribution for that item for all records. A statistical edit may also use historical data on a firm-by-firm basis in a time series modeling procedure.</p>	<p>統計的エディット 回答者データの統計的分析に基づくチェックの集合。たとえば、2つの項目の比率が、統計的に分析することによって決定される限界の間に在るかどうかをチェックし、有効な回答か推定すること。統計的エディットには、あるレコードの項目値を全レコードの項目値の度数分布と比較したりするレコード横断チェックがある。また、統計的エディットでは、時系列モデリング手順に基づいて企業ごとに過去のデータを利用することもある。</p>
<p>STOCHASTIC EDIT An edit which if violated points to an error in the data with probability less than one. Example: 80<yield<120. Contrast with deterministic edit. Compare to <i>query</i> edit.</p>	<p>確率的エディット 当該エディットをパスしないならば、1より小さい確率でデータにエラーがあることを示すエディット。例：80<収穫高<120。”deterministic edit”（確定的エディット）と対比せよ。”query edit”（確認エディット）と比較せよ。</p>
<p>STOCHASTIC IMPUTATION Probabilistic imputation.</p>	<p>確率的補定 “probabilistic imputation”（確率的補定）のこと。</p>
<p>STRUCTURE ERROR The absence or presence of data record not following the hierarchical order into which the data file is organized.</p>	<p>構造的エラー データファイルの階層順序に従っていないデータレコードの欠落または存在。</p>
<p>SUBJECT-BASED EDIT Checks incorporating real-world structures which are neither statistical nor structural. Example: wages paid/hours worked ∃ minimum wage.</p>	<p>主題ベースのエディット 統計的でも構造的でもない、現実世界の構造を取り入れたチェック。例：支払われた賃金 / 働いた時間 ∃ 最低賃金</p>
<p>SUBSTANTIAL EDIT</p>	<p>実質的エディット</p>

Edit rule proceeding from knowledge of the substance of the subject matter.	主題の実質的内容に関する知識から生じるエディット規則。
SUM CHECK Verifying whether the sum of the values of the given data group equals the value of the corresponding data item which should represent their total.	合計チェック 当該データ群の値の合計が、合計項目の値と等しいか否かを検証すること。
SURVEY MANAGEMENT The processes used to monitor, administer and control the survey. Survey Management includes preparing mailing labels and calling lists, making enumerator assignments and tracking the status of each questionnaire through the data editing processes (data collection, data capture and review/correction). Survey Management also includes monitoring the status and quality of the data editing processes.	調査マネジメント 調査を監視、運営および管理するために使用されるプロセス。これには宛名ラベルや電話調査リストの準備、調査員の割り当て、データ・エディティング・プロセス（データ収集、データ入力および審査／訂正）を通じた各調査票の追跡のほか、データ・エディティング・プロセスの状態と質の監視が含まれる。
SYSTEMATIC ERROR Errors reported consistently over time and/or between responding units (generally undetectable by editing). A phenomenon caused either by the consistent misunderstanding of a question on the survey questionnaire during the collection of data or by consistent misinterpretation of certain answers in the course of coding. The systematic error does not lead necessarily to validity or consistency errors but always seriously compromises statistical results.	系統的エラー 調査時期や回答者に係らず一貫して生じる回答エラー（一般にエディットで検出できない）。こうした現象は、系統的に調査票の質問を誤解したり、符号格付の過程で特定の回答を系統的に誤って解釈したりすることにより惹き起こされる。系統的エラーは必ずしも有効性エラーないし整合性エラー（consistency error）となるわけではないが、統計結果に対して常に重大な悪影響を及ぼす。
TOTAL QUALITY MANAGEMENT (TQM) is an optimisation and integration of all the functions and processes of an organisation in order to satisfy customer demands through a process of continuous improvement. Total Quality revolves not only producing a good product, but on improving the competitiveness, effectiveness and flexibility of the whole organisation in providing better products and services to customers. In data editing, the TQM approach aims to prevent errors rather than correct them, and to learn from past (editing) experiences in order to improve the data collection process. One element of the approach is to use the information on errors and error causes collected at the editing process to evaluate the performance of the survey questionnaire, and to feed back the findings for	総合的品質マネジメント(TQM) 顧客要求を満足させるために、継続的な改善プロセスによって組織の全ての機能とプロセスを最適化し統合すること。総合的品質とは、単に良質の製品を作るだけでなく、組織全体の競争力、効率性および柔軟性を改善し、顧客に対してより良い製品とサービスを提供することでもある。データ・エディティングの分野でいう TQM アプローチは、エラーを訂正するというよりは回避し、データ収集プロセスを改善するために過去の（エディティングの）経験から学習することを目指す。たとえば、エラーに関する情報やエディティング過程で収集されたエラー原因を用いて調査票のパフォーマンスを評価し、それによって得られた結果を活用して職員研修やシステム設計ならびに様式設計を向上させたりする。また、最初からデータを正しく取得することを原則ことも TQM アプローチである。

<p>improvement in staff training, system design and form design. The other element is the principle of getting the data right the first time.</p>	
<p>TRANSPOSITION CHECK Detecting whether the data has been recorded at the correct position (i.e., whether the data in various character positions have been transposed).</p>	<p>転置チェック データが正しい場所に記録されたか否か(すなわち、異なる文字位置にあるデータが転置されたかどうか)を検出すること。</p>
<p>VALIDATION EDITS Edit checks which are made between fields in a particular record. This includes the checking of every field of every record to ascertain whether it contains a valid entry and the checking that entries are consistent with each other.</p>	<p>有効性エディット 個々のレコードの項目間のエディット・チェック。各項目の入力値が有効か確認するために、全レコードの全項目をチェックしたり、入力値相互間の整合性をチェックすること。</p>
<p>VALIDITY ERROR An occurrence of the value of a data item which is not an element of the set of permissible codes or values assigned to that data item.</p>	<p>有効性エラー 許容される符号に該当しないデータ項目値の発生またはそのような値がデータ項目に割り当てられること。</p>
<p>WEIGHTED MINIMAL SET A minimal set in which fields are weighted according to reliability in generating imputations. If fields (variables) are given weights, then it is the set of fields that give the minimum weight. There may be two or more sets that give the same minimum.</p>	<p>重み付き最小集合 補定を行うにあたって、信頼性に基づいて重み付けされた項目の最小集合。この集合は、(補定によってエディットをパスできる項目の集合のうち) ウェイトが最小となる。ウェイトが同じとなる集合が複数ある場合もある。</p>
<p>WINSORISATION An imputation rule limiting the influence of the largest and smallest observations in the available data.</p>	<p>ウィンザー化 利用可能なデータ内の最大観測値と最小観測値の影響を制限する補定規則。</p>